

長岡中央総合病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2019年12月3日(火) 17:01~17:40
開催場所	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院 応接室
出席委員名	松井 俊晴、富澤 孝充、谷口 禎規、渡辺 真行、古俣 直樹、馬場 優子、渡辺 一也、近藤 龍弘、小林 武夫
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題①富士フィルム富山化学株式会社の依頼による市中肺炎を対象としたソリスロマイシンの臨床第III相試験 治験実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題②大鵬薬品工業株式会社の依頼による高度催吐性抗悪性腫瘍薬（シスプラチン）を投与する患者を対象としたPro-NETUの第III相試験 新たな安全性情報、並びに治験実施計画書等の変更について治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題③セルジーン株式会社の依頼による、A PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としてOZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験 新たな安全性情報、並びに治験実施計画書等の変更について治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題④日本イーライリリー株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたLY3074828の第III相試験 治験実施計画書等の変更について治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p>
特記事項	なし